

治水

発行 全国治水期成同盟会連合会

東京都千代田区麹町4丁目8番26号 ロイクラトン麹町
 電話 03(3222)6663 FAX 03(3222)6664
 ホームページ <https://zensuiren.org/>
 お問い合わせ infoinfo@zensuiren.org
 編集・発行 椿本和幸



猪苗代湖と磐梯山(猪苗代町)
(東北大会・福島県)



海越しの立山連峰(北陸大会・富山県)



木曾川水系長良川(中部大会・岐阜県)



熊野川(写真提供：(公社)和歌山県観光連盟)
(近畿大会・和歌山県)



巖島神社(廿日市市)(中国大会・広島県)



瀬戸内海と瀬戸大橋(四国大会・香川県)

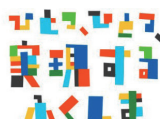


倉敷ダム(うるま市)(九州大会・沖縄県)

● 目 次

東北地方治水大会の開催について……………	2	中国地方治水大会の開催について……………	12
北陸地方治水大会の開催について……………	6	四国地方治水大会の開催について……………	14
中部地方治水大会の開催について……………	8	九州地方治水大会の開催について……………	16
近畿地方治水大会の開催について……………	10		

東北地方治水大会の開催について

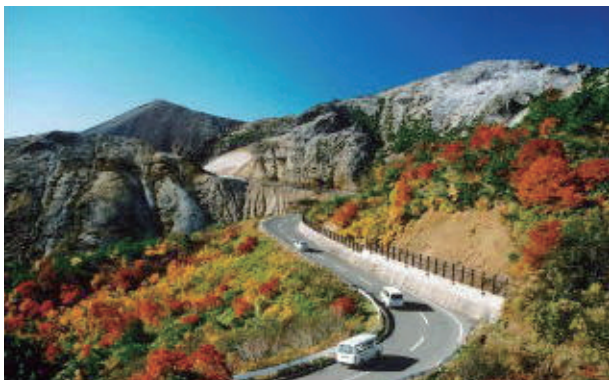


令和5年度東北地方治水大会の事務局を担当します福島県から、本県のPRと大会の御案内をいたします。

【福島県について】

福島県は東北地方の最南端、東京からおおむね200km圏内に位置しています。全国で3番目に広い面積を誇り、雄大な自然と歴史に彩られた伝統文化が息づく本県は、地形や気候風土から大きく3つのエリアに分かれています。

豊かな自然に恵まれ、歴史と文化にあふれる会津地方。美しい花々とみずみずしい果実がいっぱいの中通り地方。太平洋の景観を望み、気候温暖な浜通り地方。それぞれの地域がそれぞれの魅力で皆さまをお待ちしています。



紅葉に染まる磐梯吾妻スカイライン(福島市)



相馬野馬追(南相馬市)

【福島県の地形特性や河川について】

本県は、東部に阿武隈高地、中央に奥羽山脈、西部には越後山脈が南北に走る特徴的な地形で、

令和5年10月20日(金)13:30～
福島市 エルティ ウェディング
事務局：福島県土木部河川整備課内

それぞれの地域ごとに自然環境や気象的な違いが明確です。

西部の会津地方は日本海側の気候で、冬は雪深くウィンタースポーツなどを楽しむこともできます。東部の浜通り地方は太平洋に面しており、夏涼しく冬暖かい一年をとおして過ごしやすい気候です。

県の中央部には全国で4番目の面積を誇る猪苗代湖が広がります。猪苗代湖は、日本でもトップクラスの水質を誇り、鏡のように美しいことから「天鏡湖」とも呼ばれており、日本三大疏水である安積疏水の水源であるほか、県内外から湖水浴やキャンプなどのレジャーに訪れる方も多く、古くから人々に親しまれています。



猪苗代湖と磐梯山(猪苗代町)

県内を流れる河川は、阿武隈川水系、阿賀野川水系、久慈川水系及び那珂川水系の4水系339の一級河川、その他36水系162の二級河川で、指定区間延長は約4,866kmあり、うち県管理は492河川、延長約4,638kmに及びます。

会津地方には流域面積が県土の約43%を占める阿賀野川水系の一級河川が流れており、本流である阿賀川は栃木県との県境にある荒海山に源を發し、新潟県に入ると阿賀野川へと名を変え日本海へ注いでいます。

中通り地方の大部分は流域面積が県土の約30%を占める阿武隈川水系の流域となっており、県南部の旭岳から發した阿武隈川が、郡山市や福島市などがある県の中央部を南から北に流れ、宮城県へと流れています。また、南部の一部は栃木県

から茨城県へ流れる那珂川水系の流域と、八溝山から発し県南部の山間部を流れて茨城県へ流れる久慈川水系の流域となっています。

太平洋に面する浜通り地方には、総延長約167kmの海岸線に16の海岸（113地区海岸）があります。また、二級河川は、阿武隈高地から発した比較的小規模な河川が太平洋へ注いでいます。



福島県の水系図

【福島県の水災害と施策について】

近年では、気候変動などによる影響により、水災害が激甚化・頻発化する傾向となっており、本県でも近年、水災害が毎年のように発生しております。特に令和元年10月に発生した令和元年東日本台風（台風19号）では、総雨量が川内村445.5mm、福島市382.5mm、白河市373.0mmと県内の広い範囲で200mm以上の大雨となり10月1か月の平均値の2～3倍の雨量となりました。これにより、中通り地方の安達太良川や谷田川、浜通り地方の夏井川や宇多川などの広域において、県管理河川の計49箇所です堤防が決壊し、多数の死傷者を出す等、甚大な被害が発生したところです。

【令和元年東日本台風による福島県内の被害状況】
(福島県災害対策課調 令和4年10月11日時点)

○人的被害	○住宅被害
・死者 : 40人	・床上浸水 : 157棟
・行方不明者 : 0人	・床下浸水 : 284棟
・重傷者 : 1人	・全壊 : 1,395棟
・軽傷者 : 58人	・半壊 : 11,800棟
	・一部損壊 : 6,933棟



夏井川流域 浸水状況(いわき市)

これを受け、福島県土木部では総合的な防災・減災対策の強化を目的とし、令和元年度から令和6年度までに集中的に推進する“福島県緊急水災害対策プロジェクト”に取り組んでいます。被災箇所の早期復旧と再度災害防止へ向けた改良復旧事業、河川改修や堤防強化及び河道掘削などによる治水安全度を向上させることに加え、洪水浸水想定区域図の公表や水位計・ライブカメラの設置、ダム事前放流に向けた体制構築など、ハード整備とソフト対策が一体となった取り組みを推進しています。

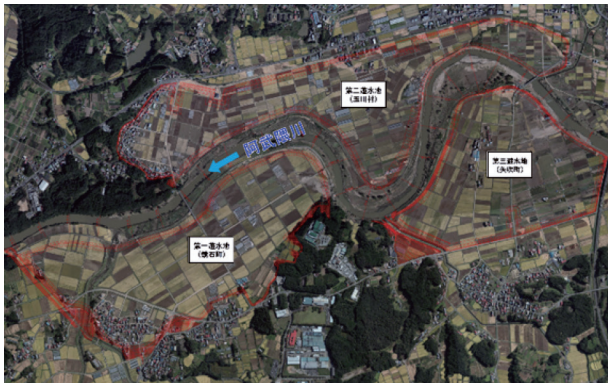


夏井川改良復旧事業状況(いわき市)

また、あらゆる関係者により流域全体で行う“流域治水”にも取り組んでおります。一級水系（4水系）においては令和3年3月に、二級水系においては全36水系のうち、令和元年東日本台風等で甚大な被害が発生した6水系で“流域治水プロジェクト”を策定・公表し、水災害に強い県土づくりを推進しています。

また、浸水被害の軽減、逃げ遅れゼロ、社会経済被害の最小化を目指し、関係機関が連携し、ハード整備とソフト対策が一体となった流域全体における総合的な防災・減災対策を行う“阿武隈川緊

急治水対策プロジェクト”を「阿武隈川上流大規模氾濫時の減災対策協議会」で策定し、このうちハード整備の一つとして、国による遊水地の整備が進められています。



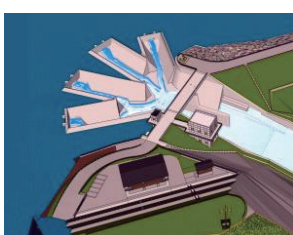
阿武隈川上流遊水地全体計画図

令和元年東日本台風の際は甚大な被害を受けた一方、真野ダム（相馬郡飯館村）や高柴ダム（いわき市）では洪水調節を実施し、下流の河川水位を低下させることで、氾濫や堤防決壊のリスクを低減するなどの治水効果を発揮しました。

ダム事業では石川町にある千五沢ダムの再開発工事を実施中です。これはかんがい専用ダムに洪水調節機能を付加するもので、国内でも珍しい放射線状のラビリンス型洪水吐きを採用したものとなっています。下流域の人々のより一層の安心安全に繋がるように工事を推進しており、令和5年10月に試験湛水を開始し、令和6年4月から運用を開始する予定です。



千五沢ダムの工事状況(石川町)



洪水調節時流下イメージ



非常用洪水吐き越流イメージ

また、平成23年7月の新潟・福島豪雨で甚大な被害を受けた只見川でも、河川改修工事を進めており、沿川を走るJR只見線が令和4年10月に11年ぶりとなる全線運転再開を果たしたことで、賑わいを見せています。今後も地域住民に寄り添いながら、急ピッチで只見川の工事を進めていきます。



JR只見線 第一只見川橋梁(三島町)

【震災からの復興】

東日本大震災から12年が経過し、震災関連の災害復旧事業はおおむね完了しております。令和3年度からは第二期復興・創生期間がスタートし、津波被災地の復興まちづくりを進めています。

現在、国と県で整備を進めている復興祈念公園は、原子力災害の影響を大きく受けた双葉町と浪江町の両町にまたがるように計画されています。この公園は、犠牲者への追悼と鎮魂、震災の記憶と教訓の後世への伝承、国内外に向けた復興に対する強い意志の発信を目的としています。

海岸堤防や河川整備、海岸防災林と一体化し、自然と調和した美しい公園が、一日でも早くふるさとを離れた地域の人々をつなぐ心の拠り所となり、震災復興のシンボルとなるよう、整備を推進しています。



復興祈念公園鳥瞰図(双葉町、浪江町)

【福島県の水資源と食文化】

本県は、越後山脈や飯豊山地などの多量の降雪による“雪の水がめ”、猪苗代湖や裏磐梯三湖などをはじめとする“湖の水がめ”、県内各地のスギ林や南会津地方に広がるブナ林の“森の水がめ”、盆地の地下にある“地下の水がめ”とともに、ダムや貯め池も数多くあり、豊富な水が蓄えられています。また、県内一級二級河川合わせて501河川のほとんどが県内に源流を持つ源流県となっています。源流の湧き水から中流部までの綺麗な水が河川を流れ、県内各地へ運ばれることで、豊かな自然を育みながら本県の水文化と、同時に食文化を発展させてきました。

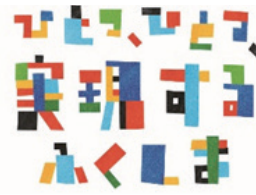
豊富な水が米処福島を生み、また、全国新酒鑑評会金賞受賞数で史上初の最高9回連続（通算11回）日本一となった日本酒、県内各地で個性のある蕎麦やラーメンなども、良質な水がおいしさの秘訣と言われています。



全国新酒鑑評会で9回連続金賞数日本一となった際の金賞受賞銘柄(17銘柄)

【「はじめる」から「かなえる」へ】

震災から10年を機に福島県は、ひとりひとりの力を重ね、それぞれの想いを繋ぎ、ともに、ひとつずつ、しっかりと、カタチにし続けていこう、という思いを込めた「ふくしまからはじめよう。」に続く、新スローガンを策定しました。新スローガン「ひとつ、ひとつ、実現するふくしま」は、復興に向けて歩んできた「これまで」と、新しい未来に繋げていく「これから」と、県民ひとりひとりの「今」を重ねたメッセージです。ロゴデザインは、さまざまな人々が集まって作る「実現」を、豊かで多様な色と形の集積で形成しています。



新ロゴマーク



デザインフラッグ

【会場付近のご紹介】

本大会開催予定会場である「エルティ ウェディング」は、JR福島駅の西口より徒歩10分程の場所にあります。駅東側には福島県庁があるほか、多くの飲食店が立ち並ぶ繁華街となっております。福島市名物の円盤餃子の名店なども多数ありますので、ぜひお立ち寄り下さい。



福島市名物：円盤餃子

東日本大震災以降も幾度となく災害に見舞われた本県の復興に、全国各地の皆さまから多大なご支援とご協力をいただき、心より感謝申し上げます。

結びに、本大会が開催される秋の福島県は美しい紅葉に加え、りんごやぶどう、梨などの果物、各地の郷土料理や日本酒など、たくさんの魅力にあふれています。

皆さまのご来県を心からお待ちしています。

北陸地方治水大会の開催について

令和5年10月25日(水)13:10～
富山市 ホテルグランテラス富山
事務局：富山県土木部河川課内

令和5年度の北陸地方治水大会の事務局を担当します富山県から、本県の紹介と大会のご案内をさせていただきます。

【富山県のすがた】

富山県は、南北にのびる日本列島の中心、本州の中央北部に位置し、東は新潟県と長野県、南は岐阜県、西は石川県に隣接しています。

本県は、三方を急峻な山々にかこまれ、深い湾を抱くように平野が広がっており、富山市を中心に半径50kmというまとまりのよい地形である一方、3,000m級の山々が連なる立山連峰から水深1,000mを越える富山湾に至るまで、高低差4,000mのダイナミックで変化に富んだ地形を有しており、植生自然比率本州一が示すように、美しく豊かな自然環境に恵まれ、四季の移り変わりが鮮明で、多種多様な動植物が見られます。また、天然の巨大ダムともいえる山々からは、1年を通じて豊かできれいな水が生まれ、水力発電、各種用水など多目的に利用されており、暮らしや産業を支える重要な資源となっています。

このような世界的に見ても稀有な景観・地形が評価され、富山湾は、フランス・モンサンミッシェル湾、ベトナム・ハロン湾などの世界遺産に選定されている湾と並び、「世界で最も美しい湾クラブ」に加盟しており、令和元年10月には世界総会が開催されました。

さらに、富山県は、その豊富で清らかな水を活かした米どころとしても知られ、良質米として評価の高いコシヒカリはもとより、平成30年には新品種「富富富」が本格デビューしました。また、チューリップ球根の出荷量が日本一の産地でもあり、伝統ある定置網漁法による漁業も盛んです。そして、質の高い労働力、豊富な電力と水、充実した物産・交通網、ものづくりの伝統、日本海側屈指の工業集積など優れた産業基盤があります。

また、「くすりの富山」として全国に知られる医薬品産業のさらなる発展や新たな成長産業の育成・振興により、「ものづくり県」として一層の飛躍を目指しています。

本県では、これからの新たな成長に向けて、「ウェルビーイング」（経済的豊かさに加え、身体的・精神的・社会的に満たされた状態である、真の幸せ）

の向上を、施策の柱としています。安全で安心な日々の暮らしは、県民の皆様の「幸せの基盤」です。この基盤を守り育て、県民の皆様一人ひとりが、真の幸せを感じ、暮らしに胸を張れる未来をつくっていきたいと考えています。



海越しの立山連峰

【富山県の河川の現状及び取組】

富山県には、一級河川5水系216河川、二級水系30水系102河川が流れており、その全延長は1,649kmに及び、そのうち1,482kmを県が管理しています。県管理河川で改修が必要な延長は744.4kmであり、うち424.1km（整備率57.0%）の整備が完了しています（令和4年3月31日現在）。

3,000m級の北アルプスや周囲の山々から一気に富山湾へと注ぐ富山の河川は、全国的にみてもまれな急流となっており、豊かな水資源に恵まれている一方で、古くから急流河川の氾濫による水害に悩まされてきました。度重なる水害から暮らしを守るため、戦国時代から堤防を築いたり、河川改修工事を行うなど、治水が富山を治めるための最大の課題となっていました。明治16年(1883)に富山県が石川県から分県したのも、治水事業がきっかけであり、特にかつて大災害を引き起こした常願寺川などの一級河川の治水・砂防工事をはじめとして、県内各地で長年にわたって河川整備が進められてきました。

近年では、局地的な豪雨が頻発しており、県内の時間雨量50mm以上の降雨発生回数は、昭和63年から平成9年の平均0.7回/年に対し、平成25年から令和4年は平均1.7回/年と、約2.4倍に増加し、中小河川において多くの浸水被害が発

生しています。

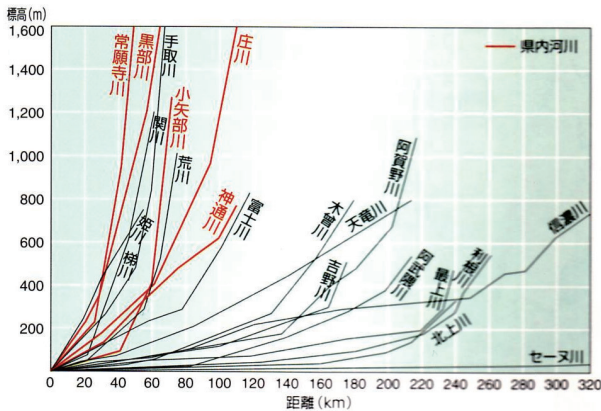
特に平成20年には南砺市、平成26年には魚津市において記録的な集中豪雨に見舞われ、住宅の浸水被害や土砂災害など、県民の暮らしに直結する被害が発生しました。

また、本年6月には立山町・上市町で局地的な短時間の大雨、7月には県内で線状降水帯が発生し広い範囲で大雨となり、住宅や農地の浸水や河川の氾濫、道路の寸断など多くの被害が発生しました。

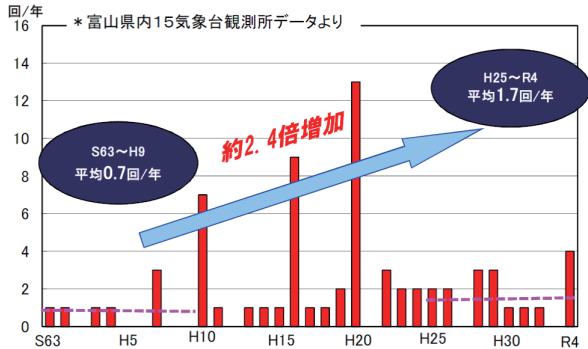
このため、本県では、各河川において、堤防の強化、川幅の拡幅、放水路の整備などを計画的に実施し、安心して安全な川づくりを進めています。

また、河川全体の自然の営みを視野に入れ、地域の暮らしや歴史・文化との調和にも配慮し、河川が本来有している生物の生息・生育・繁殖環境及び多様な河川景観を保全・創出する「多自然川づくり」を推進しています。

世界的にも有数な急流河川群



富山県内の時間雨量50mm以上の降雨の観測回数



【北陸地方治水大会の開催】

今年度の北陸地方治水大会は、10月25日(水)に富山市において開催されます。

富山市は、日本海側のほぼ中央に位置し、水深1,000mの富山湾から、3,000m級の北アルプス立山連峰まで標高差4,000mを有する多様な地勢を誇り、神通川や常願寺川などの大小いくつもの河

川が流れる、水と緑に恵まれた自然豊かな都市であります。

富山市では、少子高齢化や人口減少社会に対応し、持続可能な地域社会を形成するため、「公共交通を軸とした拠点集中型のコンパクトなまちづくり」を政策の柱に据え、路面電車や鉄道、路線バスなどの公共交通の活性化や、その沿線への都市機能の集積化を進めるコンパクトなまちづくりを推進しております。

令和2年3月には、路面電車の富山駅南北接続事業が完成し、「市民百年の夢」であった南北市街地の分断が解消され、本市のコンパクトなまちづくりは一つの大きな到達点を迎えたところであり、これにより、富山駅の交通結節機能や利便性の飛躍的な向上のみならず、市内中心部への来街者の増加や賑わいの創出、商業活動の活発化などに大きく寄与するものと期待されております。

また、古くから「くすりのまち」として全国に知られる富山市は、薬の容器として、ガラス瓶を製造していた歴史から、「ガラスの街づくり」を本市の施策のひとつに掲げ、芸術文化や産業の振興に取り組んでおります。

市内を走る路面電車の沿線には、国内有数の現代ガラス作品を収蔵している「ガラス美術館」のほか、北前船交易で栄えた「岩瀬エリア」や、運河を囲むように広がる緑豊かな水辺空間である「富岩運河環水公園」など市内の主要観光スポットが多数あります。会場前にも停留所がございますので、是非、路面電車にご乗車いただき、お立ち寄りいただければと思います。

また、先ほども紹介しましたが、富山市が面する富山湾は、「海の幸の宝庫」とも呼ばれ、シロエビやホタルイカ、紅ズワイガニ、ブリといった海の幸も豊富であり、ご遠来された折には、是非とも、富山湾の旬の味覚やお酒、北アルプス立山連峰をはじめとする美しい自然など、富山の魅力を「見て・触れて・食べて・感じて」いただければ幸いに存じます。

最後になりますが、皆様のお越しを心からお待ちしております。



中部地方治水大会の開催について

令和5年10月26日(木)13:15～
岐阜市 ミナモホール(岐阜県庁1F)
岐阜県県土整備部河川課

令和5年度中部地方治水大会の事務局を担当します岐阜県から本県の紹介と大会のご案内をさせていただきます。

【岐阜県のすがた】

本県は、日本のほぼ中央部に位置し、関市には日本の人口重心があります。面積は約10,621km²で、全国第7位の広さを誇り、数少ない内陸県の一つです。

北部の飛騨地域は、御嶽山、乗鞍岳、奥穂高岳等、標高3,000mを超える山々が連なっています。一方、南部の美濃地域は濃尾平野に木曾三川(木曾川、長良川、揖斐川)が流れ、「飛山濃水」と呼ばれています。長良川や木曾川の中流域は「日本の名水百選」に選ばれるなど、県内各地に清流が広がっています。また、水力発電に使用可能な包蔵水力が全国1位を誇り、豊かな水に恵まれていることを象徴しています。

昨今では関市にある通称モネの池がSNSで話題に上り、全国から観光客を集めています。



関市板取 名もなき池(通称モネの池)

このようなことから、本県では、「清流の国ぎふ」づくりを掲げ、各種施策を進めています。

平成27年12月には「清流長良川の鮎」が世界農業遺産に認定されました。長良川は流域に約86万人の人口を抱え、都市部を流れる川でありながら、流域の人々の暮らしの中で清流が保たれ、その清流で鮎が育っています。

【河川の現況】

本県には、日本海に注ぐ神通川、庄川、九頭竜川と太平洋に注ぐ木曾川、庄内川、矢作川の6水系があり、一級河川は437河川で、総延長は約3,324kmとなっています。

このように多数の河川から水の恩恵を受ける一方で、山間部を中心に年降水量が3,000mmを超えるなど自然条件が厳しく、長年にわたり水害や土砂災害に苦しんでいる地域でもあります。



木曾川水系長良川

【近年の浸水被害と治水対策】

近年、気候変動の影響により水災害の激甚化・頻発化が懸念されているところですが、本県でもここ5年で3回もの大規模な災害に見舞われています。

平成30年7月豪雨では、西日本を中心に全国的に広い範囲で記録的な大雨となり、本県では初めて大雨特別警報が16市町村において発表されました。観測開始以来、最大の降水量を観測する地点も数多くあり、木曾川水系長良川上流域にある、ひるがの雨量観測所(郡上市)では7月3日から7月8日の間に、平年の7月の月降水量の約2倍にあたる1,058mmの降水量を観測しました。こうした大雨により、長良川(美濃市・郡上市)や木曾川水系飛騨川(下呂市)は氾濫危険水位を超過し、特に長良川支川の津保川(関市下之保他)では、沿川に家屋が建ち並ぶ谷底平野という地形条件のため、溢水により369戸の家屋等が浸水す

るとともに、1名の尊い命が奪われる甚大な被害が発生しました。

この対策として津保川では、令和元年度から浸水対策重点地域緊急事業により河道掘削や護岸整備等の河川改修を進めているところです。本年8月の台風第7号により、津保川流域では記録的短時間大雨情報が発表されるほどの大雨となりましたが、平成30年7月に浸水被害があった関市下之保地区において、改修前と比べて約0.6mの水位低下効果を発現し、家屋浸水を防ぐことができました。



津保川の浸水害の状況(関市上之保地区)

こうした状況も踏まえ、流域全体で水災害を軽減させる流域治水を推進するため、各水系で策定した「流域治水プロジェクト」や本県の中長期的なビジョンに立った総合的な治水計画である「新五流域総合治水対策プラン」に基づき、流域のあらゆる関係者と連携しながら、ハード・ソフト両面で事前防災対策を一層加速させていきたいと考えています。

ハード対策として、個別河川の改修やダム建設などの事業を推進する一方で、近年は「想定外の常態化」ともいえるべき状態が続いているため、以前にも増して、命を守るための避難対策の強化など、ソフト対策が重要になると考えています。

そのため、家屋浸水が想定される河川等に全国でもトップクラスの数の危機管理型水位計(406箇所)を設置し、河川監視カメラ(132箇所)の情報などとともにウェブサイト「岐阜県 川の防災情報」において、リアルタイムで情報発信しているところです。加えて、この「岐阜県 川の防災情報」は、スマートフォン版では、4か国語(英語・ポルトガル語・タガログ語・中国語)を選択して

表示できるなど、できる限り分かりやすい情報発信に努めています。そして、市町村によるハザードマップの作成や水防活動への支援も継続して実施していきます。

本県では、こうした水災害対策を進めているほか、清流の国ぎふづくりを進めるため、県民協働による河川の維持管理や自然と共生した川づくりに取り組んでいます。

【中部地方治水大会の開催】

さて、10月26日(木)に令和5年度中部地方治水大会を岐阜市で開催いたします。

開催地の岐阜市には、織田信長が入城した岐阜城がそびえる金華山、鶉飼が行われる清流・長良川などがございますので、ご来県の際にはお楽しみいただければと思います。

また、本県には、日本三大曳山祭にも数えられる高山祭で有名な「飛騨高山」や、日本三大名泉の「下呂温泉」、世界遺産である「白川郷」など、多くの観光スポットがありますので、ご堪能いただくのもよろしいかと存じます。

多くの皆様のご来場を事務局一同、心よりお待ちしております。

近畿地方治水大会の開催について

令和5年10月17日(火)13:00

和歌山市 ホテルグランヴィア和歌山

事務局 和歌山県県土整備部河川・下水道局河川課内

令和5年度近畿地方治水大会の事務局を担当します和歌山県から、本県のPRと大会の御案内をいたします。

【和歌山県について】

和歌山県は、近畿地方の南につきでた紀伊半島の南西部にあって、北は大阪府、東は奈良県と三重県、南は熊野灘に接し、西は紀伊水道をはさんで徳島県と向かい合っています。串本町の潮岬は、本州の最南端に当たります。

「木の国」とも呼ばれるように山岳地帯が多くを占めていますが、紀の川をはじめとする諸河川の流域では平野が開けています。諸山脈は概ね北東から南西に走り、標高は1,000m前後ながら比較的傾斜の急な山が多く、河川のほとんどはこれらの山脈に源を發し、流域を潤し紀伊水道や太平洋に注いでいます。

海岸線は北の加太から南の熊野川河口まで約650kmにおよぶ変化に富む美しいリアス式海岸であり、大部分が国立公園等に指定されています。特に、日本ジオパークにも指定されている県南部の海岸は、山裾が黒潮に洗われ、橋杭岩をはじめとする奇岩・怪石が海中にそびえ立つ雄大な眺めとなっています。



橋杭岩(串本町)

【河川の現状】

和歌山県には一級水系が2つあり、1つは大台ヶ原を水源として県北部を西流し紀伊水道に注ぐ紀の川水系です。もう1つは山上ヶ岳を水源として

県東部を流下し熊野灘に至る新宮川水系で、その本流である熊野川の一部の区間は世界で唯一の「川の参詣道」として世界遺産に登録されています。この2つの水系には延長609.2kmにおよぶ134の河川が流れています。



熊野川(写真提供：公益社団法人和歌山県観光連盟)

一方、二級水系は85水系あり、延長1,422kmにおよぶ317の二級河川と延長100.8kmにおよぶ100の準用河川が流れています。日本で最も長い二級河川である「日高川」(延長323.9km)や日本で最も短い法指定河川である「ぶつぶつ川」(延長13.5m)も二級河川に含まれています。



ぶつぶつ川(那智勝浦町)

また、清流として名高い二級河川の古座川をはじめ、豊かな自然環境を有する河川が多数あり、水と緑豊かな生活環境をつくり出している河川もたくさんあります。一方で急流河川も多く、降雨量も多いため、豪雨による洪水氾濫の被害を受けやすく、また都市部の河川は低地帯を流れているため、浸水被害を受けやすいという特徴があります。

【近年の浸水被害と治水対策】

和歌山県のある紀伊山地周辺は全国でも有数の多雨地域で、明治22年や昭和28年の大水害など過去から繰り返し水害に見舞われてきました。

平成23年9月の紀伊半島大水害では、台風第12号により記録的な大雨がもたらされ、新宮市新宮で時間雨量132.5mm、那智勝浦町色川で累積雨量1,186mmを観測するなど、記録的な大雨となりました。その被害状況は、人的被害として死者56名、行方不明者5名、住宅被害は全壊・半壊1,993棟、床上・床下浸水5,855棟となっています。



平成23年9月紀伊半島大水害
那智川の浸水状況(那智勝浦町)

また、先般の令和5年6月1日から3日にかけての梅雨前線及び台風第2号の豪雨では、線状降水帯が発生し、降水が長時間継続しました。

湯浅町湯浅では時間雨量83.5mm、日降水量385.0mmを記録し、その被害状況は、人的被害として死者2名、行方不明者1名、住宅被害は全壊・半壊36棟、床上・床下浸水3,095棟に上りました。



令和5年6月梅雨前線及び台風第2号の豪雨
日方川の浸水状況(海南市)

近年、増加傾向にある局所的な集中豪雨や台風等による浸水被害の軽減を図るため、七瀬川、住

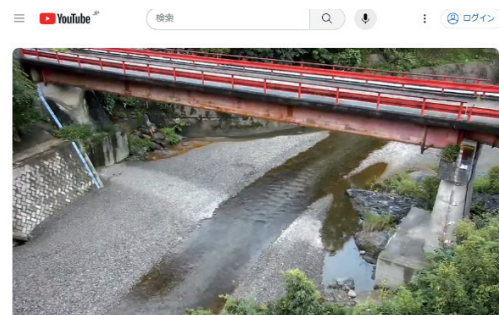
吉川、日方川などにおいて大規模特定河川事業をはじめとした河川改修工事を着実に推進しています。

ダム事業では、切目川ダムが平成27年3月に竣工し、洪水被害の軽減や水需要の確保に寄与しています。



切目川ダム(印南町)

また、水位観測データや河川監視カメラ等の情報をホームページで公開し、地上デジタルテレビのデータ放送でも配信しています。令和4年9月からは県内主要河川の監視カメラ映像のYouTube配信も始めています。



このライブストリームではチャットは無効です。



YouTubeの映像

【近畿地方治水大会の開催】

さて、開催地となる和歌山県は、高野山・熊野に代表されるように日本人の聖地でもあり、豊かな自然に恵まれたリゾート地でもあります。現在、令和6年の世界遺産登録20周年や令和7年の関西万博を控え“聖地リゾート！和歌山”として観光プロモーションに取り組んでいます。

古くから神々の棲む聖地だけでなく、豊かな自然に育まれた文化・歴史、温泉、食、アミューズメントといった様々な聖地をうみ出し、併せて、訪れた人々の心や体を癒してくれる和歌山をご堪能いただきたいと思ひます。

皆様のご参加を心からお待ちしております。

中国地方治水大会の開催について

令和5年10月12日(木)13:00～

広島市南区民文化センター

広島県土木建築局道路河川管理課・河川課

令和5年度中国地方治水大会の事務局を担当します広島県から、本県の紹介と大会のご案内をさせていただきます。

【広島県のすがた】

広島県は、本州の西端近くに位置し、北は鳥取県と島根県、東は岡山県、西は山口県と接しています。また、瀬戸内海に面しており、海をはさんで四国と向かい合っています。県の面積は約8,500㎢で全国11番目、人口は約276万人で全国12番目となっています。



世界遺産 厳島神社(廿日市市)と原爆ドーム(広島市)

気候は、北は中国山地、南は四国山地にはさまれた地形により、夏・冬の季節風の影響を受けにくく、梅雨、台風の時期を除き、一般的に夏の降雨量、冬の降雪量ともに少なく、晴天が多いという瀬戸内海気候地帯です。しかし、沿岸部と山間部では気候に比較的大きな違いがあり、県南部の沿岸部は、年平均気温が約16℃、年平均降水量が約1,300mmであるのに対し、県北部の山間部では、年平均気温約11℃、年平均降水量約2,000mmで、年間降水量が2,500mmに及ぶこともあります。

産業としては、自動車や造船、鉄鋼など製造業が盛んなほか、カキ(牡蠣)やレモンの全国有数の産地となっています。



◎7 広島サミット厳島神社訪問(廿日市市)

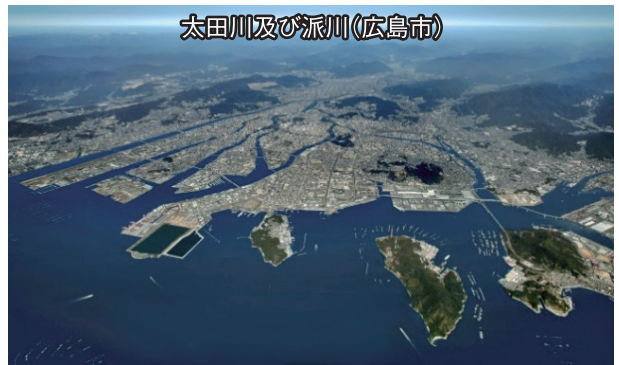
また、今年5月には「G7広島サミット」が初めて被爆地で開催され、広島に各国の首脳が集い、対話を重ねたことは、世界に向けた力強い平和のメッセージの発信となり、現在では国内外から多くの観光客が訪れています。

【河川の現況】

広島県内には、5,200あまりの河川があり、県の総面積の約6割は、一級水系である太田川、江の川、芦田川の三つの流域に大別されます。

このほか、高梁川、小瀬川の一級水系のほか、比較的小規模な多くの二級水系が瀬戸内海沿岸部及び島しょ部に分布しています。このうち、中国地方で最大の流域を持つ江の川は、中国山地を貫いて日本海側に流れている唯一の河川です。

これらの河川のうち、河川法の適用を受ける河川は一級河川が太田川水系ほか4水系の368河川、流路延長は2,442.3km、二級河川は沼田川水系ほか46水系の137河川、流路延長は627.7km、そのうち県管理河川区間延長は2,742.6kmで全国13番目に位置しています。



太田川及び派川(広島市)

【近年の浸水被害と治水対策】

比較的気候の穏やかな県と言われてきましたが、近年では繰り返し大きな水害に見舞われています。

戦後最大級の被災を受けた平成30年7月の西日本豪雨では、県内23市町のうち22市町において大雨特別警報が発令され、三原市の沼田川支川など12河川で破堤するなど102河川で浸水被害が発生し、広島市安佐北区の三篠川で鉄道橋が流失するなど、主要道路や鉄道の寸断、取水場や工場の浸水により経済活動や生活にも大きな影響を及ぼしました。



太田川水系三篠川におけるJR橋流失(広島市安佐北区)

また、令和に入ってから、令和3年の記録的豪雨により、7月には県南部において、東広島市の三津大川や竹原市の本川、三原市の天井川、8月には県北部において、安芸高田市の多治比川や北広島町の出原川・冠川で、破堤や越水・溢水及び内水氾濫により甚大な浸水被害が発生しました。



江の川水系多治比川における越水状況(安芸高田市)

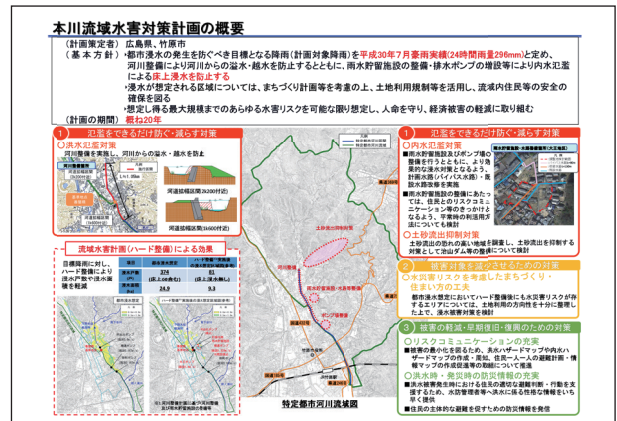
これらの被災を受け、平成30年7月豪雨災害における沼田川本川及び支川については河川激甚災害対策特別緊急事業、三篠川については河川災害復旧助成事業を、令和3年豪雨災害における本川及び多治比川については浸水対策重点地域緊急事業、三津大川については河川災害復旧助成事業に取り組むなど、再度災害防止を最優先に対応を進めてきています。

また本県では、このような激甚化・頻発化する水災害にも対応していくため、令和3年度からの5か年計画である「ひろしま川づくり実施計画2021」を策定し、『災害死ゼロ・社会経済被害の最小化』を基本方針とし、4つの施策体系で取り組んでいます。

1つ目は、『洪水・高潮による社会経済被害の最小化に向けた河川整備』として、災害からの早期の復旧・復興、人口・資産の集積状況や重要施設の立地等を踏まえた実施箇所の重点化、流域全体で行う持続可能な治水対策「流域治水」による事前防災の加速化、2つ目は、『施設機能を適切に発揮させるための維持管理』として、計画的な維持

管理による既存施設の機能維持、河川管理の高度化・効率化、3つ目は、『逃げ遅れゼロに向けた防災情報の提供』として、よりきめ細かな水害リスク情報の提供、水害リスクの認知や正しい理解の促進、4つ目は、『水辺の魅力向上の推進』として、草刈りや清掃活動などの河川愛護活動の支援、ダム的確な運用による水環境の保全、「水の都ひろしま」構想の推進など河川利用の促進に、それぞれ取り組んでいるところです。

特に、本県では流域治水を強力に推進するため、2級水系における「流域治水プロジェクト」を令和2年及び3年に策定・公表するとともに、令和3年に特定都市河川浸水被害対策法が改正された後、2級水系では全国初となる竹原市を流れる本川流域を令和4年7月に特定都市河川流域として指定し、令和5年3月には流域水害対策計画を策定し、多様な主体による様々な取組を流域全体で進めているところです。



【県 HP】 <https://www.pref.hiroshima.lg.jp/soshiki/99/tokuteitoshi-003.html>

【中国地方治水大会の開催】

さて、10月12日(木)に令和5年度中国地方治水大会を広島市で開催いたします。

中国地方各地からお越しいただいた皆様には、ぜひ、各国首脳も見たであろう瀬戸内の景色を堪能頂くとともに、首脳が訪れた2つの世界遺産「厳島神社」と「原爆ドーム」のみならず、海と山に囲まれた自然豊かな広島を体感いただければ幸いです。

また、同じくサミットで振る舞われた比婆牛や瀬戸内の魚、日本酒やワインなどの広島のみならず、お楽しみ頂き、そして、また広島を訪れて頂くことを期待しております。

皆様のご参加を心からお待ちしております。

四国地方治水大会の開催について

令和5年10月23日(月)13:45～
高松市 JR ホテルクレメント高松
香川県土木部河川砂防課

令和5年度の四国地方治水大会の事務局を担当します香川県から、本県のPRも含め御案内申し上げます。

関係者の多数の御参加をお願いいたします。

【香川県のすがた】

香川県は、四国の東北部に位置し、総人口は約94万人、総面積は約1,877km²と全国で最も小さい県です。その地形は半楕円形に近い弧を描き、南部には標高約1,000mの讃岐山脈によって徳島県と接し、北に向かって讃岐平野が広がり、周囲は瀬戸内海に面しています。

また、海岸線の延長は約737km、海面には大小100余りに及ぶ島々が点在し、多島美に象徴される瀬戸内海特有の風光明媚な景観が広がっています。



瀬戸内海と瀬戸大橋

【河川の現況】

香川県には、一級河川が2水系・16河川・総延長約87km、二級河川が79水系・275河川・総延長約1,007kmあり、このほかに準用河川116河川・総延長約83kmが指定されています。

本県の河川は、その水系の多くが讃岐山脈に源を発し、山間部では急勾配で流下し、平野部では一転して緩やかとなり、河口部では上流から運ばれた土砂の堆積による扇状地を形成しながら、瀬戸内海へ流れています。

気候は、県内全域が瀬戸内式気候に属し、令和3年の年間降水量は1,136mmと、全国平均1,894mmの約6割となっています。また、降雨

は梅雨期と台風期に集中していることから、平常時は河道にほとんど流水が見られない河川が多く、古来より農業用水を確保するための水争いの記録が数多く残されるなど渇水との闘いの歴史が繰り返されてきました。

一方で、洪水時には短時間のうちに一気に流下することから、台風や大雨の際には、頻繁に洪水被害に見舞われており、渇水対策に加え、河川改修やダム事業等といった治水対策への取組が強く求められています。

【近年の浸水被害と今後の取り組み方針】

本県における主な災害としては、平成29年の台風18号に伴う高潮と豪雨の同時生起により、県下で床上101戸、床下327戸の浸水被害が発生しました。また、過去を振り返れば、昭和51年、昭和62年、平成16年とおよそ10年～20年に1回の頻度で激甚災害指定を受ける規模の洪水が発生しています。特に、平成16年には計9個の台風により、全国一狭い県土に全国3位となる2,208億円もの記録的な災害が発生しました。

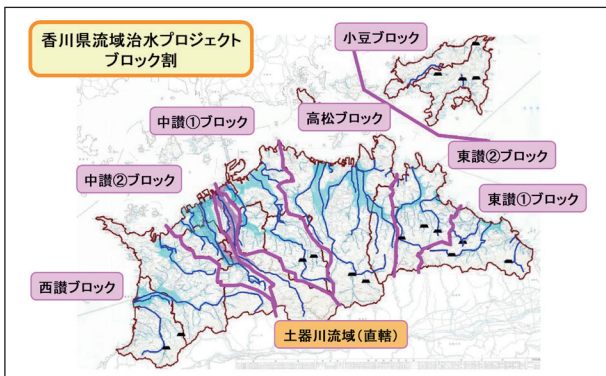


春日川における台風23号の爪痕(高松市)

高松市東部を流れる春日川では、平成16年の台風23号により、甚大な浸水被害が発生したため、「河川激甚災害対策特別緊急事業」として重点的に整備を進め、平成22年8月に竣工しました。

さらに、近年、激甚化・頻発化している風水害に備えるため、あらゆる関係者が協働して治水対策に取り組む「香川県流域治水プロジェクト」を令和3年8月に策定し、ハード・ソフト両面から

流域治水の取組みを推進しています。



ハード対策として、事前防災の観点から9水系12河川において、計画的に河川改修事業を実施しているほか、「防災・減災、国土強靱化5か年加速化対策」を活用して、県内の主要河川で河道掘削や樹木伐採を行っています。

また、令和3年7月には、高松市西部を流れる香東川水系栴川において「栴川ダム」本体工事が竣工し、現在は、東讃地区を流れる湊川上流の五名ダム及び中讃地区を流れる綾川上流の長柄ダム再開発事業にも着手しています。

ソフト対策としては、平成30年度から令和3年度にかけて危機管理型水位計を107基、簡易型河川監視カメラを21基増設したほか、防護対象のある小規模河川における洪水浸水想定区域図の作成・公表について、令和7年度末完了を目指し取り組んでいるところです。

【四国地方治水大会の開催】

最後になりましたが、本大会は高松駅に隣接する「JRホテルクレメント高松」を会場とし、瀬戸内海の美しい多島美を背景に開催されます。また、会場から少し足を延ばせば、瀬戸内の島々への玄関口となる高松港がすぐ目の前にあります。

オリーブの島「小豆島」やアートの島「直島」、桃太郎でおなじみの「鬼ヶ島（女木島）」など、高松港から簡単にアクセスできます。

現在、多くの観光客に香川県の財産ともいえる島々を訪れていただき、瀬戸内の素晴らしさを感じ、守り支えることにつなげる「島へ行こうキャンペーン」を実施しています。

キャンペーン期間中は、「島お手伝い旅」・「島滞在旅」・「島クルーズ旅」といった3つのツアーが開催されます。

この機会に、島々の歴史や文化に触れ、瀬戸内

のおいしい食をぜひ御堪能ください。



島へ行こうキャンペーン(島お手伝い旅イメージ)

<https://www.my-kagawa.jp/feature/goisland/goisland>

九州地方治水大会の開催について

令和5年10月5日(木)13:15～
パシフィックホテル沖縄万座・珊瑚の間
沖縄県土木建築部河川課

令和5年度の九州地方治水大会の事務局を担当します沖縄県から、本県のPRと九州地方治水大会のご案内をさせていただきます。関係各位の多数のご参加をお願いいたします。

【沖縄県について】

沖縄県は、九州から台湾に連なる南西諸島の南半分、およそ北緯24度から28度、東経122度から132度に位置しており、距離にして東西約1,000km、南北約400kmに及ぶ広大な海域に散在する琉球諸島から成っています。琉球諸島には大小160の島々があり、そのうち沖縄本島、宮古島、石垣島、西表島などの47の島々に人々が生活しています。



与那覇前浜ビーチ [©ocvb]



川平湾 [©ocvb]

本県は我が国で唯一、亜熱帯海洋性気候に属し、年平均降水量も約2,000mmと全国と比べても降水量の多い地域であります。沖縄本島北部や西表島に残る亜熱帯多雨林ではヤンバルクイナやイリ

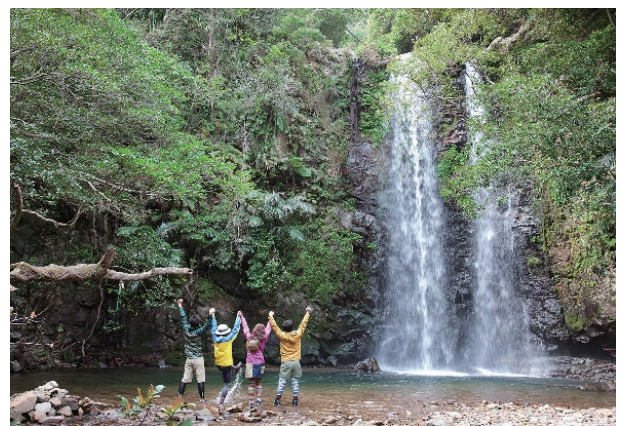
オモテヤマネコなど、国内外でもめずらしい貴重な野生動物が生息・生育する生物多様性が高い地域であり、鹿児島県奄美大島、徳之島とともに2021年7月に世界自然遺産に登録されています。

また、アジア大陸に近く、古くから海外交易がさかんに行われてきたため、独自の歴史や文化が育っています。こうした沖縄ならではの歴史や文化は、「琉球王国のグスク及び関連遺産群」として世界遺産に登録された首里城跡や斎場御嶽（せーふあーうたき）をはじめとした遺跡や、琉球王国時代に創作されユネスコ無形文化遺産にも登録された「組踊」等の伝統芸能や伝統工芸等、独自の慣習や料理などに見ることができます。

【沖縄県の地形・河川・ダムについて】

大小あわせて300余りの河川があり、そのうちの51水系75河川が二級河川、13水系21河川が準用河川となっています。

本県は小さい島々から構成され、比較的大きな沖縄本島でも南北に細長いという地形的条件から、いずれの河川も流域面積が小さく、流路延長が短く急勾配となっています。台風時・梅雨時期等には、短時間での降雨量が極めて大きいという特性と相まって、河川の水位が一気に上昇する特徴があります。



溪流トレッキング(ター滝) [©ocvb]



西表島カヌー [©ocvb]

一方では、この地形的条件のため、降雨の殆どが直接海へ流出し、平常時の流量は極端に少なくなります。少雨傾向が続くと河川流量が著しく低下し、河川から安定した水資源を確保することが困難な状況となっていました。

水資源を確保するため、県において、沖縄本島周辺離島における多目的ダムの我喜屋ダム（伊平屋村）、座間味ダム（座間味村）、儀間ダム（久米島町）、真栄里ダム（石垣市）、沖縄本島における治水ダムの金城ダム（那覇市）及び多目的ダムの倉敷ダム（沖縄市）の計6ダムを管理しています。

県のダム事業とは別に、本県では、沖縄振興特別措置法に基づき、国による多目的ダム建設が推進され、現在9ダムが国によって管理されています。これらの多目的ダムによる治水効果と併せ、以前は頻発していた断水が平成5年度の時間断水を最後に沖縄本島では発生していません。



倉敷ダム

【沖縄県の水災害について】

これまでに行われた河川事業により、本県における河川の氾濫は、近年、着実に減少していますが、流域における市街化の進展や、山地開発に伴う流出率の増大、保水能力の低下など、河川に関わる諸条件が悪化し、都市部における未整備区間とその周辺に浸水被害が多発しています。そのため、開発が著しく氾濫被害が増加傾向にある都市部の

浸水被害軽減を図るため、人口集中地区の河川整備を重点的に推進しています。整備にあたっては、沖縄独自の自然景観や生態系に配慮した多自然川づくりを積極的に推進するとともに、地域に親しまれる河川環境の保全・創出に取り組んでいます。

また、全国的な取り組みである「流域治水プロジェクト」を15河川で策定しており、今後、プロジェクトに基づくハード・ソフト一体となった事前防災対策を一層加速化するとともに、対策の更なる充実や協働体制の強化を進めていきます。



【会場付近のご紹介】

令和5年度の九州地方治水大会を10月5日に沖縄県那覇市で開催することとなりました。会場の「パシフィックホテル沖縄」は、那覇空港から車で15分、沖縄本島で最も有名な観光ストリートである国際通りへは車で10分という立地になっています。国際通りや、そこから一步脇へ入った路地には、数々の土産物店、沖縄料理店や令和5年3月にリニューアルオープンした第一牧志公設市場も立地しております。

【結びに】

最後になりますが、先述したとおり、本県はかつて「琉球王国」として、周辺諸外国との交流により栄え、来訪者をおもてなす情に厚い土地柄があります。王国の象徴であった首里城は令和元年10月の火災により焼失しましたが、全国の皆様方

からの温かいご支援により、現在復興に向けて歩み出しております。この機会に、是非、多くの皆様に本県にお越しいただき、復興途中の首里城をはじめ、本県の豊かな自然環境、沖縄グルメ、厚いおもてなしの心を満喫していただけたらと思います。



琉球料理 [©ocvb]



沖縄そば [©ocvb]